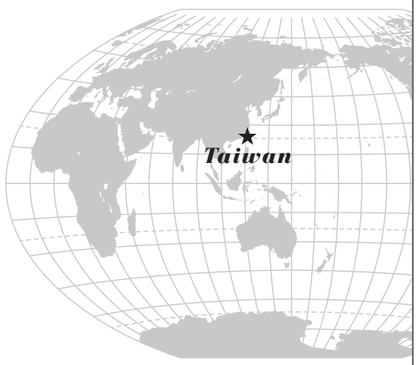
中国人寿保険新本社ビル新築工事



鹿島建設株式会社 中鹿營造社 中国人寿保険新本社ビル新築工事事務所 所長
平井 康
Yasushi Hirai

台湾と当社の歴史と現状

台湾は、東日本大震災での政府・企業・市民による迅速かつ多大な支援により、親日的で温かい国のイメージとして更に日本で広く知られるようになった。近年、ますます両国の交流が盛んになっている。

当社も戦前よりインフラ建設に携わるなど、長い歴史を刻んできた。現地法人・中鹿營造は設立から三三年が経過し、工場・オフィス・ホテル・高級マンション・商業複合施設に至るまで建築施工の実績を積み上げ、鹿島ブランドが定着してきている。

プロジェクトの紹介

発注者の中国人寿保険は一九六三年創業の資産一兆元、事務職員一三、〇〇〇人を超える台湾有数の生命保険会社である。

このほど、同社が更なる事業拡大を図るなかで、既存オフィスが手狭になったため、近傍地に新本社ビルを新築する運びとなった。

新本社ビルには低層階に同社および関連会社の本社が入居する予定のほか、高層階には専用プールも兼ね備えたホテルが、一階にはレストラン、敷地内別棟には銀行が入居する予定である。

建物は、地下五階地上一八階建て、延べ八一、〇〇〇平方メートルで、外壁カーテンウォールには台湾初となるダブルスキンカーテンウォールを採用しており、当社の日本本社の技術支援を受けながら施工検討を進めている。

また、敷地内には台北市指定の五株の保護樹木が存在しており、現場内に保護エリアを設置し慎重に工事を進める必要がある。施工上の苦労にはなるが、建物開業の暁には、これらの樹林が彩る緑が従業員や店舗利用者にひと時の安らぎを与えてくれることを願っている。

完成予想パース

工事所見

工事は本年二月の起工式を経て、現在本格着工に向けた準備工事の最中であり、二〇一九年末の竣工を予定している。約三年間の長丁場となるが、所員一丸となり工期内完成を目指している。

お客様のニーズは、日本と同様の信頼できる品質の確保と工期遵守である。そのため、常に所員と協力会社との共通認識を維持できるよう、日々の打ち合わせにおいてコミュニケーションを図り、問題が発生しないよう作業調整に努めている。

終わりに

世界は近年急速にグローバル化が進んでいるとは言え、台湾の言葉・文化・考え方は日本と全く違う。そのような環境の中であるが、ものづくりの基本精神は世界共通であると認識する。

当社のスローガンである「ひとつひとつ心を込めた物づくり」「決心せよ！ 今日一日の無災害」を常に意識し、日本の会社の強みを活かせるよう、日本人および現地社員、協力会社が一丸となり、今以上に成長し、業績向上につなげていきたい。今後も、台湾の発展と共に、当社の伝統とブランドを継承し、少しでも新たな歴史づくりに貢献できるよう努めていく所存である。

敷地全景

起工式記念写真（主要出席者一同）

起工式（動土の儀）